

『ポーラーサークル ～未知なる漫画家オムニバス』

(2013年／日本／カラー／104分／ポーラーサークル配給)

2013年12月7日(土)～11日(水) 5日間限定レイトショー！
オーディトリウム渋谷にて <http://a-shibuya.jp/> 開場21:00 上映21:10より



特別鑑賞券 ¥900 当日料金 ¥1,000

ポーラーサークル企画第三弾は、注目の漫画家4人が
各々のオリジナルストーリーを元に
自らメガホンを取った異色のオムニバス映画です。

**作品ジャンルを”SF”と限定し、漫画家ならではの
独創的でスケールの大きい4作品が完成しました！**

出演：中村うさぎ 蒼あんな 蒼れいな 護あさな 藤崎ルキノ 上埜すみれ 他
監督：羽生生純 古泉智浩 タイム涼介 柊野浩一 (上映順) プロデューサー：蔭山周 タイム涼介
公式ブログ：<http://ameblo.jp/michi-manga/> 企画・制作・配給：ポーラーサークル

1. 『サメナイユメコは選択した』 (24分)

監督：羽生生純 <http://homepage2.nifty.com/hanyu-new/>

出演：澤純子 蒼あんな 蒼れいな 井之上史織 高橋和貴 森一生



【作品解説】

世界が裏返る！！都内の一軒家にサラリーマンの夫と高校生の娘あわせて三人で暮らす平凡な主婦の醒無夢子(50)は、ある夜スーパーのパート帰りに突然この世界の行く末を左右する二者択一を迫られる・・・彼女はどちらを選択するのか？『恋の門』の原作者・羽生生純が描くドメスティックSFムービー。

【監督プロフィール】

羽生生純（ハニニュー ジュン）1970年生まれ。漫画家。

『恋の門』（2004年松尾スズキ監督により映画化）

『いってミヨーンやってミヨーン』

『俺は生ガンダム』 『青（オールー）』 『アワヤケ』

『千九人童子ノ件』 『ワガランナー』 『ピペドン』

『ファミ通のアレ（仮題）』（原作・竹熊健太郎）

『陋巷に在りー顔回伝奇ー』（原作・酒見賢一）など。

2. 『O星人来襲』 (12分)

監督：古泉智浩 <http://vivaall.cocolog-nifty.com/douteijanee/>

出演：ピョコタン モリミキ タイム涼介 藤崎ルキノ 見ル野栄司 尾上龍太郎 他



【作品解説】

ある日突然、ガールフレンドの胸が小さくなっていた。どうやら上空を飛んでいるUFOと関係があるようだ。二人は無謀にもUFOに乗り込むのだが…。自主映画に取り組んで10年、40本以上のショートムービーを作り続けている漫画家・古泉智浩が10年の集大成として特撮SF映画を作製。

【監督プロフィール】

古泉智浩（漫画家）

1993年『ヤングマガジン』ちばてつや大賞を受賞し漫画家デビュー。

漫画『青春☆金属バット』は熊切和嘉監督に、

『ライフ・イズ・デッド』は菱沼康介監督に映画化され話題となる。

出版業界の人を対象にしたショートムービーのワークショップ「よるひる映研」を主催。

『よるひる映研傑作選DVDブック』が今年青林工藝舎より発売された。

3. 『男女大戦』 (40分)

監督：タイム涼介 <http://ameblo.jp/time000/>

出演：護あさな 高橋和生 松井琴乃 服部紗奈 小泉ここ 千絵ノムラ 飯田華子 ちくまサラ 他



【作品解説】

21世紀日本。1人の天才が開発した装置IP(アイデアルパートナー)により、男性は誰でも脳内に理想の女性を投影し共に生活、恋愛を楽しむことが可能となった。いつしか男たちは生身の女性を不要とするようになった。女性たちの不満は爆発し、男女間で戦争が勃発する。第23回映画祭TAMAシネマフォーラム ある視点部門招待作品。

【監督プロフィール】

タイム涼介 (漫画家)

映画監督としては『実験失敗家族』が劇場公開デビュー作となる。

『ポラサークル～未知なる生物オムニバス』の一編として

2012年六月オーデトリウム渋谷にて上映。

漫画家としての活動経歴は

ヤングマガジンで漫画家デビュー。

近年はコミックビーム (エンターブレイン) にて「I.C.U.」を連載。

主な著作に「日直番長」「あしたの弱音」「アベックパンチ」などがある。

2011年にアベックパンチが映画化されたのをきっかけに映像制作に興味を持ち、自主制作活動を開始した。

CGやガンエフェクトなどを得意分野とし、超低予算ながら派手な作品を目指して、研究を続けている。

4. 『その部屋でかたくなったり

やわらかくなったりキスをしそこなったり』 (25分)

監督 出演：柘野浩一 <http://masuno.de>

出演：中村うさぎ 上埜すみれ 飯塚未生 鈴木詩子 川崎タカオ 宮下拓也 太田ユリ 他



【作品解説】

キスが嫌いなために、1人だけ生き残ってしまった男の独白。歌人で漫画原作者でもある柘野浩一が、南阿佐ヶ谷「柘野書店」を舞台に撮影したドキュメンタリー風SF短編。柘野監督の飲み仲間である作家の中村うさぎのほか、「古泉智浩よるひる映研」の参加者である漫画家たちが多数出演している。

【監督プロフィール】

柘野浩一 1968年、東京西荻窪生まれ。歌人。

2008年、イメージリングス背徳映画祭のプロデューサーであった故・しまだゆきやす氏のすすめで初の短編映画をつくる。映画作品のタイトルは原則としてすべて57577の短歌になっている。2009年に五反田団、2013年にFUKAIPRODUCE羽衣の新作公演に役者として参加。また松尾スズキ監督『恋の門』、杉田協士監督『ひとつの歌』など、いくつかの長編映画に出演している。小手川ゆあ初の原作つき漫画『ショートソング』（集英社）の、原作小説（集英社文庫）を執筆した。2013年春より、高校国語教科書（明治書院）に短歌代表作が掲載中。2013年秋、芸人コンビ「詩人歌人」を結成、ソニー・ミュージックアーティスツ所属。漫画家である元妻とのあいだに2000年うまれの息子がいる。